

学校教育目標 ◎かしこく ◎なかよく ◎たくましく ◎心ゆたかに



## 一歩一歩

校長 玉川 徹

二学期がスタートしました。

「夏休み」に普段では経験できないことをいろいろと体験してきたことでしょうか。一日一日を自分で「何をしようか？」と考えながら過ごした日も少なくなかったのではないのでしょうか。それらの経験や体験がこれからの生活の糧になるとよいと思います。

さて、二学期は夏から秋そして冬を迎える学期です。昔から日本では「実りの秋」と言います。これは、稲作からきているのでしょうか。春に田を耕し、苗を植え、手間暇かけて世話をし、そして黄金の稲穂ができる。その他にも多くの植物の実がなる。野菜も美味しく、果物が採れ、魚もたくさん捕れる。そんなところから、「実りの秋」と言われるようです。

「実り」とは「努力してよい結果をえること。成果。」とも辞書に載っています。子どもたちがそれぞれ頑張ってきたことが実り(成果)として現れてくるのも、二学期なのかもしれません。

それではどのように実りのある二学期にしていくのか・・・。

私は、山の頂に立つことが好きで、たまに山に登ります。山に登るのは苦しいです。しかし、頂に立った時の充実感、達成感、成就感、そして素晴らしい景色に会えた時の爽快で心地よい気持ちに出会える、何とも言えない気持ちになります。そこに至るまでは厳しい時もあります。すごい高度を感じ危険と隣り合わせのコース、高度による息苦しさ、重い荷物が肩にくいこむ痛さなど、つらいこともあります。そんな中でも一歩一歩足を前に運び進んでいけば必ず頂にたどり着けます。一歩一歩前に進む。それが目標地点、頂上に行くための必須です。何かを成し遂げる、成果として現れるということは、ジャンプして一気に進もうとするのではなく、着実に一歩一歩前に進んでいくことが本当は最善の近道なのかもしれません。

今年の夏は、ブラジル、リオデジャネイロオリンピックに沸いた夏休みでもありました。毎日のように日本人の活躍が報道され、うれしい日々でした。日本代表選手は338人もいるそうです。クローズアップされなかった選手もたくさんいます。そしてこれから始まるパラリンピック。132名の日本代表選手の活躍も楽しみです。そんな選手もみんなオリンピック・パラリンピックに出るという目標・メダルをとるという目標に向けて練習を重ね、一歩一歩歩んできたのでしょうか。

目標がすごく先のもので、目標がすぐ目の前のもので、基本はとにかく一歩一歩です。

一歩一歩、確実に前に進み、実りのある二学期になることを期待します。そして私たち教職員は、普段の学校生活、学校行事において、子どもたちそれぞれが実りある二学期になるよう指導・支援してまいります。

